

整理番号 S-91

出展 織物欠点解析事例集(第2集)

欠点名 光沢斑(糸損傷)

品名 混織タフタ

試料形態 織物

組織 平

糸使い

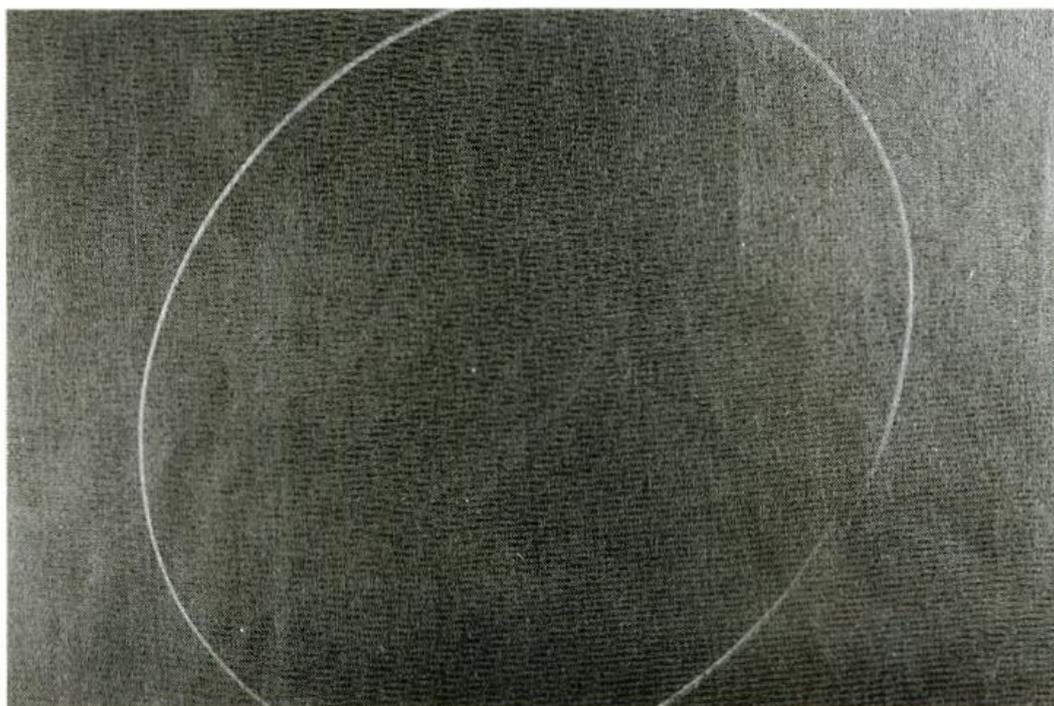
たて糸:ポリエステル 75d/72f

よこ糸:ポリエステル/ナイロン混織 75d/320f

欠点発生状況

この織物は高密度混織タフタで、裏側はアルミコーティングされたスポーツ衣料用の生地である。表面の一部分に、たて方向にやや近い方向で約 5cm 以内程度のチョークマーク状のランダムな線状の欠点が発生している。

試料写真



試験結果

(1)電子顕微鏡観察

- ・よこ糸の損傷が認められた。

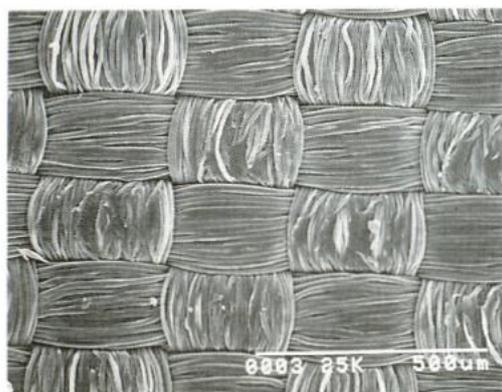


写真 1

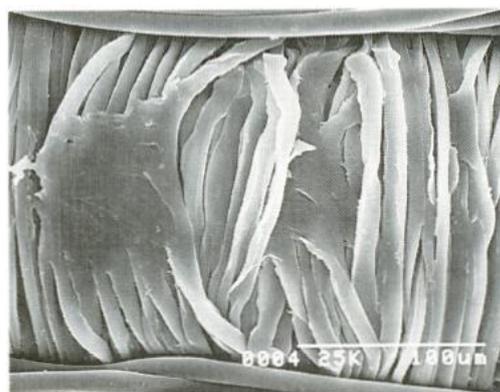


写真 2

所見

本欠点はたて、よこのいずれの方向にも添っておらず、従って製織後に発生した欠点であることが判る。電子顕微鏡観察の結果、たて方向に近い角度で織物が何かによって擦られており、たて糸には異常がないが、よこ糸のみが擦過熔融されていることが判明した。たて糸はポリエステル 75d/72f であるのに対し、よこ糸は 75d/320f とハイカウント糸で融点の低いナイロンが入っているために、普通のポリエステル織物ならば問題のないような程度の物体の擦過あるいは発熱体の擦過により、熔融損傷されたものと考えられ、染色加工以後の例えば乾燥工程などで生じた欠点と推察される。
